紫ニンジンの遺伝子改変による新色品種の開発

課題　天然物由来の青色食用着色料の開発。

紫ニンジンの色素成分は既に着色料として利用されている。

↓

放射線育種・小規模（ナチュラルオカレンス相当）なゲノム編集

青ニンジン・赤ニンジンを開発。

期待される成果

世界中で食経験が豊富なニンジンを使用するため、天然物着色料として世界中で利用可能！
既存のニンジン着色料製造設備・工程をそのまま利用できる！
複数色のニンジン由来色素を利用することで、さまざまな色合いを再現でき、かつ、成分表示はシンプルに！
ニンジン栽培に適する千葉県の気候を活かした新たな特産品の創出につながる！